

## News Release

2017年3月30日

報道関係 各位

コカ・コーライーストジャパン株式会社

### ～蔵王工場の水源域で水資源保護活動を継続推進～ **宮城県蔵王町と 水源涵養の連携と協力に関する包括協定を締結 白石蔵王森林組合、円田生産森林組合とも協定締結**

コカ・コーライーストジャパン株式会社(本社:東京都港区、以下 CCEJ)は、宮城県蔵王町(町長:村上英人)、白石蔵王森林組合(代表理事組合長:太田清蔵)、円田生産森林組合(組合長理事:平間博)と、水源涵養の連携と協力に関する協定を締結することとなり、3月27日(月)に協定締結式を開催しました。

コカ・コーラシステムでは、2020年までに製品および製造で使用した水と同等の量の水を自然に還元して実質的な水の使用量をゼロにすることを旨とする「WATER NEUTRALITY(ウォーター・ニュートラリティ)」に取り組んでいます。

CCEJは、工場の水源となる地域を特定し、その地域の特色に合わせた水資源保護(リプレニッシュ)プログラムを推進するため地域コミュニティと水資源保護に関する協定を締結し、その一環として、植林や間伐、田植えや米の収穫など、持続可能な水源を育むための活動を展開しています。地域ごとに次世代を担う子どもたちを対象とした環境プログラムを定期的で開催し、水資源保護の重要性について理解を深めていただいています。

今回の蔵王町との協定は、蔵王工場の水源エリアである蔵王町で、緊密な相互連携と協働による活動により、蔵王の豊かな水を育む森林や農地を保全・再生し、水の恵みによる豊かな地域づくりを目指すものです。併せて、白石蔵王森林組合、円田生産森林組合と協定を結ぶことで2006年から実施しているコカ・コーラ「森に学ぼう」プロジェクトの植林活動を継続・推進していきます。

